

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2740

OCTOBER

Vol. 4

2022.10



旧福田家 (佐賀市歴史民俗館)

Rotary



ガバナー
月信

2022-2023年度
国際ロータリー第2740地区

ガバナー 上村 春甫

2022－2023年度 国際ロータリーのテーマ



イマジン ロータリー

index

ガバナーメッセージ	2
寄稿 今なぜDEIなのか?	4
米山記念奨学委員会報告	7
公共イメージ委員会報告	8
国際青少年交換委員会報告	9
ガバナー公式訪問クラブ報告	10
2022年7月会員数・出席報告	19
新会員紹介	20
寄付者紹介	21
肥前國の風景	裏表紙

表紙説明 | 旧福田家（佐賀市重要文化財 佐賀県遺産）

旧福田家は、明治末期から大正期・昭和初期にかけて、佐賀を代表する実業家として活躍した福田慶四郎の居宅です。佐賀商業会議所の会頭や佐賀第百六銀行の頭取を務めました。

佐賀第百六銀行の設立は、鍋島直暲侯以下、旧佐賀藩士が発起人となり、上村家六代目当主・上村春甫氏も出資株主となりました。

表紙・本文帯
「月信」揮毫

牛島 征四郎
(佐賀RC)



「米山月間」 「経済と地域社会の発展月間」等から 「公共イメージ」を考える

2022-2023年度 第2740地区 ガバナー 上村 春甫

仲秋の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は、お陰様でガバナー公式訪問もほぼ終わりほっとしているところです。各クラブにおかれては、ガバナー公式訪問に丁寧にご対応頂き又ご歓待頂き誠にありがとうございました。

この間の意見交換及び交流によって啓発されることが多くあったのですが、その中に、各クラブともロータリーの理念に誇りを持ち、社会の発展に貢献する活動を通じてロータリーのイメージを向上させ、ロータリーの理念に賛同する人を増やそうと努めておられることに改めて気づかされたということがあります。10月はちょうど「米山月間」「経済と地域社会の発展月間」ですので、今回は、これら社会の発展に係る活動とロータリーの「公共イメージ」とについて述べたいと思います。

「地区研修・協議会」や「月信7月号」等で示しておりますが、今年度のガバナー方針の「継続的な重要課題への取組み」の中で、「各種寄付の拡充推進サポート・アドバイス」を挙げ、その目標のひとつを「米山記念奨学会への一人年間寄付額」としており、また、「ロータリー奉仕デーへの積極的参加」を挙げ、その内容を「ロータリー奉仕デーへの積極的参加に取り組み、公共イメージのさらなる向上を図る」としています。これらをガバナー方針として挙げましたのは、重要課題として継続的に認識されているものということ

が基本にあります。背景には、これらの人道的奉仕が世の中にとって大切なものであるという思いと、これらの人道的奉仕を行うことはロータリーの公共イメージの向上に繋がるとの思いがあります。

ロータリーの「公共イメージ」については、2010年7月に「R I 戦略計画」の3つの優先事項において、「クラブのサポートの強化」「人道的奉仕の重点化と支援」とともに「公共イメージと認知度の向上」が挙げられ、「公共イメージ」の重要性が示されました。その後、2019年7月に「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」の4つの戦略的優先事項に改定されましたが、「人道的奉仕」→「公共イメージ向上」→「支援者増・会員増」の流れは不変であると思います。さらに、この流れは、「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」に繋がり、ジェニファー・ジョーンズ会長が目指しておられる「多様性」「公平さ」「包摂」を踏まえた会員の積極的参加を実現することになると思います。

「米山記念奨学事業」は、日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉翁の偉業を記念し、後世に残るような有益な事業を立ち上げたいとの思いから、1952年東京ロータリークラブが奨学事業の構想を立案、1953年「米山基金」の募金を開始されたことに始まる伝統ある公益性の高い事業です。2022-23年度の寄付金スタートは2億1,100万円と前年度と比べ

約150万円の増加と聞いています。

「経済と地域社会の発展月間」は、貧困地域の経済発展を目的とした、起業家、地域社会のリーダー、地元団体を含む地域ネットワークの向上、雇用創出、支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減、経済と地域社会の発展に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間です。

「ロータリー奉仕デー」は、ロータリー内外からボランティアを集め、地域社会の課題に取り組むものです。

いずれも社会の為になるもので、ロータリーの「公共イメージ」の向上に大いに貢献するものだと思います。皆様とともにしっかりやっていきたいと思えます。

尚、本稿の趣旨に沿う「義援金」と「支援」とを行いましたので報告致します。

「義援金」は、「青森県大雨災害義援金」です。今年8月青森県（第2830地区）は記録的な大雨となり、河川の氾濫で冠水被害や土砂崩れによる大きな被害をもたらされました。今後、このような災害は日本各地で発生することと思われ、当地区でも以前大きな災害に見舞われ、義援金を頂いております。本支援には国内の各地区からも賛同の声が上がっていたことから、第2740地区からも100万円の義援金を送金致しました。

「支援」は、「R I 災害救援基金を利用したウクライナ支援」です。今年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻から7か月が経ちます。その影響で、ウクライナ国内は大きな戦争災害により破壊される都市が増加しています。これに対応するため国際ロータリーでは、ウクライナ支援に乗り出し、国内の多くの地区も名乗りを上げられ、第2740地区内でも支援に乗り出されているクラブやご検討されているクラブもあることを伺っているところ、当地区においても、塚崎直前ガバナーのご尽力により、多地区合同でロータリー財団を

通してウクライナ支援（仮説住宅の費用の一部）を行う運びとなりました。

また、8月20日当地区の「公共イメージ委員長セミナー」が開催され、私も出席しましたが、公共イメージの重要性を改めて認識しました。

今後とも、人道的奉仕や社会の発展・良化に資する奉仕活動を通じ、ロータリーの公共イメージの向上に努め、ロータリーの活性化を図っていききたいと思います。

寄稿

今なぜDEIなのか？

パストガバナー 千葉 憲哉 (諫早北RC)

初めに

2022-23年度の国際ロータリージェニファー・F・ジョーンズ会長は会長テーマ「イマジン ロータリー」を掲げた。そしてRIの具体的方針としての行動規範起草のためのタスクフォースを立ち上げ、その中で、DEIの推進をあげ、同時に、女性比率を30%にあげることが掲げている。多くのロータリアンは突然DEIと言うにわかには理解がしがたい項目と、女性比率30%に面くらっている。

この行動規範がなぜ叫ばれてきたのかを考えてみたい。

物づくり資本主義から知的資本主義へ

少し時間軸を半世紀戻してみよう。1960年から1990年までは世界は東西冷戦時代でかつ、民主主義と共産主義の勢力争いの時代であるが、ロータリーが始まった1905年の初期資本主義と比べて比較にならないくらい高度経済成長が進み、豊かな社会作りを奔走し、日本では物が豊かになり平和と幸福が実現してきた。しかしながら、当時の社会では女性は家庭で専業主婦、男性は社会で働くことが当たり前の時代であった。男は主に「モノづくり」を支える会社員かもしくはその販売をする企業戦士でしかいなかった。いわゆる「物作り資本主義」の高度経済成長時代である。

ところがベルリンの壁が崩壊するとともにあらゆる社会構造が変化した。日本は低成長時代に突入した。10年たっても、20年たっても経済成長はおろか、経済の停滞がどんどん進行した。そして21世紀を迎えたが、気づくと、世界は激変していた。いつの間にかトヨタ、日産という日本を代表する企業が世界の企業ランクから転落し、GAFAsが世界の富の半分以上を占める時代へと変わっていたのである。すなわち資産が「物」から「情報」へと変わり、「知的資本主義」の時代へ変化していたのである。産業革命と匹敵する一大変化である。日本は「Japan as No1」と揶揄され、高

度成長の成功体験に酔いしれ、再興を期待し、資本主義の変貌に気づかなかった。社会構造の改革に立ち遅れてしまった。それが「停滞の30年」である。

社会を見ると「人手不足」のために女性の社会進出が叫ばれ、いつの間にか共働きが当たり前、男性の育児休暇取得が当然、の時代へと変化していた。50歳以下の若いロータリアンには当たり前のことである。企業がよく使う「企業の人手不足」という言葉があるが、知的資本主義では正確には「企業の人材不足」が正しいのである。知的産業と単純労働の二極化、貧富の経済格差が進行している。今、社会が求めているのはこの二極化へ対応する「人材」である。知的資本主義に「人材」の必要性にいち早く気づいたのがアメリカ、中国、ヨーロッパ諸国である。これらの国はモノ作りは低開発国に移し、ソフト開発、基礎研究などの知的分野での人材養成を実現に奔走した。シリコンバレーはその典型である。GAFAs隆盛はその結果である。日本が金利を下げただけで経済回復ができるというのはあまりにも貧困な発想であった。日本はグローバル化社会、情報化社会への変貌に気づかなかった。「停滞の30年」の間、人材開発、研究費の減少でAI開発、コロナ薬開発、EV車開発など世界の趨勢に遅れてしまったのが現実である。日本のノーベル賞受賞者が人材の削減をやめることと、研究費増額をするように政府に提言してもそれは生かされなかった。優秀な人材は海外へ流出した。その一方、世界は人、企業のグローバル化への対応をどんどん進化させた。GAFAsを中心としたグローバル産業は栄え、地域に閉じこもった日本企業はどんどん衰退している。日本は完全に世界から取り残された。多様な人材が必要だったのである。日本の政府も企業も気づくのが遅すぎた。

女性比率30%の意味するもの

ではなぜ、女性比率30%が掲げられているのだろうか？

これには理由がある。女性比率が15%以下だと女性は目立つ存在、個人としては女性代表とみられ、排除の対象とさえみなされる。ところが、35%以上ならば、性別の意識は無くなり、個人として扱われ、創造性向上し、権威制限不可となる。これは女性に限らず、外国人についても同じことがいえる。米国など移民社会では当たり前なのが単一民族の日本では通用しない。しかも、知的資本主義において「多様な人材不足」として女性の活躍社会が叫ばれたのである。米国の最高裁女性判事にキングズバークが選ばれるまでに多くの苦悩の女性権利獲得の歴史があるのである。そこで多様性を考えてみる。脳科学的には主として、男は左脳（理論脳）女性は右脳（感覚脳、創造脳）とされている。男社会は理論脳だけで充分であった。しかし、知的資本主義社会では当然左脳（理論脳）に加えて、右脳（感覚脳）を必要とする社会となったのである。

実例を示しましょう。私は1960年代の医学部学生時代に女性軽視を経験した。定員100名の中に女性は10名以下。当時、医師は男の仕事と考えられており、国立大医学部には女性用のトイレさえなかった。男社会の中で勉強・実習などすべて男女の区別も、女性に加減することもなかった。だから、医療部門を「男のような女」しか活躍できない分野であると見ていたのも事実であった。これはあきらかに「無意識の偏見」にあたるといえる。しかし、2022年の現在、医学部学生の女性数は30%をはるかに超えて、半数を占める。今はきれいな女性用トイレが設置され、男性医師は奇異な目で女性医師をみない。仕事の上で性別を意識されない。だから病院内職場では女性医師だからといって特別視されない。“人へのやさしさ”が求められる医師職として、女性医師は聡明で、判断力、行動力にすぐれ、患者接遇は素晴らしい、一方、無愛想で説明の下手な男性医師より医師職としてはるかに女性が適任と言える。これこそが「知的資本主義社会」で望まれる女性活躍社会である。女性の「お茶くみ」の“人手”はいらない、女性の“人材”が欲しいのである。本当の意味で「知的人材」を必要としている時代なのである。

ロータリーを取り巻く環境変化

ロータリーに目を移しましょう。オールド・ロータリアンは高度成長時代を経験し、男社会の中で生きてきた。ヤング・ロータリアンは低成長時代に生きており、共働き、男性の育児体験をしている。女性への評価は両者では真反対である。

今日、ロータリーは世界的組織へと変化した。すなわち、地域コミュニティからグローバル・コミュニティへ変化している。ロータリークラブは企業人の集まりである。企業人ならば、この変化に気づかねばならない。今日、企業がグローバル的視点を持たないと企業の存続が困難であるとされている。事実、世界の機関投資家は35.3兆ドル（約3900兆円）運用しているが、DEIを取り入れてない一部上場会社への投資はしない。

21世紀、企業と同じく、ロータリーもグローバル・コミュニティへ変化している。だからこそ、ロータリーの組織も活動もグローバル時代への対応を余儀なくされている。変化が必要なのである。

多様性D、公平性E、包括性Iの必要性

次に、DEIとは何か？なぜグローバル化した共同体、ロータリーでDEIが必要なのか？を考えてみる。

今、グローバル・コミュニティでは求められているのはどのような人材か？その人材の要件に3つある。多様性（D）、公平さ（E）、結びつき（I）である。

- (1) DEIの一つ目は多様性Diversityである。人は一人で生きてゆけない。コミュニティがないと人は寂しさや疎外感を覚える。幅広く性質の異なる人材（性・国籍・年齢）の存在がコミュニティを温かく、有意義なものにする。多様な人材のいるコミュニティこそ、多様なプロジェクトを可能にすることができる。

コミュニティには多様な人材が必要である。そのような人を今のロータリーは求めている。

- (2) 次に2つ目は公平性Equityである。平等とは違う。人は遺伝学的にも、社会的にも誰一人として、決して平等にはできておらず、生まれながらにして一人ひとり不平等である。不平

等を是正するには公平性に基づくべきである。個体差はその人の個性であり、その個性を大切にし、活かすことができる。そのような人こそ多様化した社会に求められる必要な人材といえる。ロータリーであらゆる運営に、あらゆる奉仕活動に必要である。

- (3) 3つ目は包括／開放性Inclusionである。これこそロータリーが100年間、最も大切にしてきたことである。親睦の中から生まれる高いエンゲージメント（結びつき）である。高いエンゲージメントは女性脳が得意とする。エンゲージメントがないと質の高いプロジェクトは実現できない。その実例がロータリーのポリオプラス・プロジェクトであろう。

グローバル化企業・組織戦略としてのDEI

グローバル企業がなぜDEIを必要としているかを考えてみる。

<グローバル企業としての6条件とDEIの関係>

- ① 組織の活性化→D, E, I
- ② 多様な人材（女性・年齢・外国人など）を活かせる。→D：多様性
- ③ 高いエンゲージメント（結びつき）→I：包括
- ④ 「無意識の偏見（男は仕事、女は家庭）」がなくせる。→E：公平性
- ⑤ 組織価値の向上→D, E, I
- ⑥ 問題解決力向上→D：多様性

グローバル化企業・組織戦略として挙げられているこの6つを考えれば、このDEIの3つがそろそろ人材が必要であることがわかる。これを国際ロータリーはロータリー改革の切り札としたのである。

国際ロータリーの改革

国際ロータリーも会員数が減り、特に先進国で激変が目立ち、その対応に苦慮した。低迷期を経て、やっとDEI導入の必要性に気がついたのだと思う。突然DEIを言い出したのではなく、遅きに失した感さえある。あらゆる団体が同じ誤りを犯した。そこで、停滞した20年間の誤りを反省し、国際ロータリーは2004

年から試行錯誤の試験プロジェクトを組んだ。

その結果、国際ロータリーは2016年ついに行動を起こした。

- (1) 会員増強にDEIを掲げた。
- (2) 国際ロータリー組織のゲマインシャフト（共同体組織）からゲーゼルシャフト（機能体組織）への移行をした。
- (3) 奉仕活動項目に災害を取り入れ奉仕活動の幅を広げた。

ロータリー組織の100年目に迎えた大改革である。未来のロータリーの在り方を考えてのことであろう。いま、ロータリーが大きく変わる変革期にある。

むすび

突然出現した「DEI」、「女性会員比率30%」がロータリーで叫ばれるのは必然であり、むしろ遅すぎたくらいであることがご理解いただけたと思う。

ポールハリスは「時代とともにロータリーも変化しなければならない。そうしないとロータリーは生き残れない。」と説いた。「奉仕の理想」を実現するために後ろを振り向かず、現実の目を背けず、前を見るべきである。

人類誕生から20万年間に人間の遺伝子には「経験する変化」が刻まれている。ロータリーの100年の経験がロータリアンの遺伝子にはロータリーの変化として刻まれている。それこそがロータリアンが誇れるロータリーのアイデンティティーである。ロータリーの基本理念は少しも緩んでいない。1910年～1930年までに確立された「ロータリーの哲学」を経験の遺伝子に刻み、堅持しつつ、「2016年の国際ロータリー大改革」の変化をロータリアンはしっかりと見つめようではありませんか。

21世紀の若いロータリアンがポールハリスの遺志を継承するために、この改革が新しいロータリー次世代の扉が開くであろうことを期待したい。

(了)

米山記念奨学委員会報告

米山記念奨学委員会 委員 高谷 信一（長崎出島RC）

米山奨学生出前卓話研修会

22年8月20日、出前卓話研修を諫早文化会館にて、リモート参加も含め米山記念奨学生16名、地区委員13名の総勢29名が参加し実施いたしました。

奨学生が各クラブを訪問し行う出前卓話は、ロータリアンの寄付のみで成り立っている奨学会並びに奨学生について直接アピールし、理解と認識を深め得る重要な機会である為、本研修を通じて卓話の作成並びに発表の方法を学んで欲しい旨、松田委員長の挨拶がありました。

次に前出卓話の経験がある奨学生3名が後輩たちに対し出前卓話の作成、プレゼンの方法を具体的に説明した後、本多委員を始めとした地区委員が話すべき要点や注意点等のアドバイスを与え、研修を終了いたしました。

各クラブの皆様におかれましては、これから始まる出前卓話を通じて奨学生との接点をもって頂き、奨学会の事業に対する理解と関心をより深め、上村ガバナーが目標と掲げる一人当たり16,000円の寄付額を達成すべく、更なるご協力をお願いいたします。



公共イメージ委員長セミナー報告

公共イメージ委員会 委員長 原田 徹（雲仙 諫早南RC）

2022年8月20日（土）に3年ぶりにリアルのセミナーを開催できました。コロナ禍の影響もあり、開催そのものが危ぶまれましたが、多くのクラブにご参加いただき、無事に開催に漕ぎ着けられたことに感謝いたします。

セミナーは2部構成で、前半は「公共イメージの向上を实践する」と銘打って、最新の公共イメージ関連の情報をお伝えし、そもそも「ロータリーの公共イメージ向上とは」ということをご理解いただくことからスタートしました。実は昨年度の4月に東京で開催された「クラブ活性化セミナー2022」をきっかけに、九州4地区の各公共イメージ部門が集まっての合同会議が発足し、セミナー直前の8月6日に福岡で第1回目の会合を行いました。そこで得られた九州各地区での素晴らしい取り組みについてもご説明できたので、ご参加いただいた皆様の参考にしていただければと思います。

後半は地区公式Webサイトの「奉仕事例」に各クラブで実際にご登録いただくために必要な準備や登録方法について実際にパソコンを使っでの操作指導および実際の登録を行っていただきました。ご登録いただいた各クラブの奉仕事例は、セミナー終了後に委員会の方で確認させていただいた上で、現在は公開されておりますので、地区公式Webサイトでご確認いただければと思います。また、今後も奉仕活動を行われた際は、「奉仕事例」に積極的にご登録いただきますようお願いいたします。

ご参加いただいた皆様が自ら積極的にご質問いただけましたので、セミナーがスムーズに進行できました。また、ご多忙の中、ご参加いただきました上村春甫ガバナーをはじめ、ご来賓の皆様にもセミナー内で色々とお協力いただきありがとうございました。

今後も国際ロータリー第2740地区の公共イメージ向上に努めたいと思いますので、皆様よりご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

参考：国際ロータリー第2740地区 公式Webサイト <https://rotary2740.jp/>



国際青少年交換委員会報告

国際青少年交換委員会 委員長 **堀川 二雄**(雲仙 諫早南RC)

令和4年8月28日(日)午前10時より午後4時まで諫早市の『たらみ会館』にて、上村ガバナー、山下地区幹事をお迎えして、地区委員、スポンサー、ホストクラブ関係者、ロテックス、すべてのホストファミリー、総勢45名で開催いたしました。当地区のオリエンテーション参加者としては過去最高人数だと思います。

委員会では、8月中に派遣したアウトバウンド学生(OBS)と入国したインバウンド学生(IBS)の近況報告、第2700地区との危機管理協定についての経過報告、10月開催予定の九州地区長崎平和学習会について等、8項目多岐にわたり検討協議いたしました。

午後からのオリエンテーションでは、IBS(アメリカ3人・オーストラリア2人・台湾1人)の滞在期間中の全てのホストファミリー(HF)とホストクラブの関係者に出席いただきHFの心得や情報共有をさせていただき大変有意義な研修となりました。

上村ガバナーからもIBSに対して歓迎と激励の挨拶を頂き、IBSも自己紹介の挨拶を日本語で話してくれました。来日直後のオリエンテーションでしたので緊張した表情でしたが、『日本文化を体験したい』、『日本語を上達したい』『日本人の友人をたくさん作りたい』等素晴らしいスピーチでした。交換学生として日本を好きになって、ロータリー国際親善大使の役割を存分に発揮して欲しいと思います。

IBSに逢う機会がございましたら、是非気軽に声をかけてあげてください。

結びに、地区ロータリアンの皆様に心より感謝申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



小城RC

7月13日(水)

会長 大島 英明 幹事 安永 正

令和4年7月13日(水) 上村春甫ガバナー、第1グループ大家和義ガバナー補佐、山下雄司地区幹事、古賀浩之地区副幹事をお迎えしてガバナー公式訪問を開催しました。

今回の例会は、牛津ロータリークラブ及び小城ロータリークラブ合同で行い、上村ガバナー御一行もこの例会に参加されました。この中で、上村ガバナーは、ガバナーメッセージを具体的に分かり易く説明され、両クラブメンバー全員に周知徹底されました。

例会後、小城ロータリークラブの会長、幹事他役員数名との懇談会がおこなわれ、先ず大島会長からクラブの運営方針やクラブの現況と課題等を説明。上村ガバナーから色々助言を受けました。今後のクラブ運営に生かしていきたいと思っています。また、「佐賀ロータリークラブでは、ローターアクトを再開した。当クラブも活動できるようにお願いしたい。」との話がありました。

最後に、コロナ禍の中、御来訪いただきました上村ガバナー御一行様に感謝申し上げて、公式訪問のお礼とさせていただきます。



牛津RC

7月13日(水)

会長 有浦 仁士 幹事 石橋 一誠

2022年7月13日(水)、ゆめぷらっと小城に於いて、上村春甫ガバナー、大家和義ガバナー補佐、山下雄司地区幹事、古賀浩之地区副幹事をお迎えして、小城RC、牛津RC合同公式訪問を開催いたしました。

例会前の懇談会では、当クラブの運営方針、現況報告について説明させていただきました。

大家ガバナー補佐からは的確な指導と気さくなお話で大変和やかな雰囲気にしていただきました。上村ガバナーからは多様性、公平さ、女性会員の増強の重要性について分かりやすく説明され、小城市との関わりやすスポーツへの情熱を熱く語っていただきました。

会員増強、女性会員の入会促進、課題はたくさんあると思いますが努力していきたいと思えます。

上村ガバナーと御一行様のご来訪を心より感謝申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



神埼 R C

7月19日 (火)

会長 下津浦 公 幹事 雪竹あゆみ

この度は上村春甫ガバナー、笠慶宣ガバナー補佐、山下雄司地区幹事、古賀利明地区副幹事に神埼クラブを訪問していただきました。

例会に先立ち、上村ガバナーとの会長幹事懇談会が開催されました。懇談会では、当クラブ下津浦会長より概況報告を行い、笠ガバナー補佐と上村ガバナーよりそれぞれ講評を頂戴しました。

世代間のギャップをどう埋めていくかという当クラブの課題に対し、上村ガバナーよりご自身の経験を踏まえた具体的なアドバイスを賜りました。

例会でのガバナー卓話では、本年度のRIテーマである「IMAGINE ROTARY」を、上村ガバナーの言葉で噛み砕いてご説明いただきました。今年度の重点施策として『女性会員の増強と環境整備』『青少年活動の活性化』『リーダーシップ開発の強化』を挙げられまして、ロータリーの「輪」を大切にすることで、これらを自ずと達成させる動機付けをしていただきました。

上村ガバナーの世代や性別の差を感じさせない温かいリーダーシップの下、1年間活動を推進してまいります。この度は神埼クラブへご来訪いただき、誠にありがとうございました。



佐賀北 R C

7月20日 (水)

会長 田中雄一郎 幹事 豆田伊左徳

令和4年7月20日 (水) 国際ロータリー第2740地区 上村春甫ガバナー、笠慶宣第2グループガバナー補佐、山下雄司地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ち、当クラブの山田誠会長エレクト、豆田伊左徳幹事と共に懇談会を開催し、当クラブの概要についてご説明させて頂いた後に、ガバナーよりRIからの要望事項等をお伝え頂きました。本年度の当クラブの目標である、障害者スポーツ「ボッチャ」競技への支援と「女性会員増強」の計画に対し、深くご理解を頂きました。

例会では、ガバナーよりご自身のお家の歴史や、医師としての職歴、スポーツドクターとして体験された大変興味深いエピソードをご披露して頂き、当クラブ会員一同熱心に拝聴しておりました。

また、地区テーマである「『想像』して『創造』しよう」について、非常に分かりやすく熱意のこもったご説明をして頂き、有意義な時間を過ごす事ができました。

上村ガバナーをはじめとした皆様の公式訪問に感謝いたします。

今後共ご指導の程よろしくお願い致します。



ガバナー公式訪問クラブ報告



多久RC

7月21日(木)

会長 船津美奈子 幹事 梅津健太郎

7月21日(木)、「天山多久温泉 TAQUA」イベントホールにおいて、上村春甫ガバナー、大家和義ガバナー補佐、山下雄司地区幹事、古川麻由美地区編集委員をお迎えして、4年ぶりとなる佐賀大和クラブとの合同例会で、ガバナー公式訪問を開催いたしました。

午後12時半からの例会の前後に分けて各クラブの懇談会が行われ、当クラブは会長・幹事・会長エレクトの3名が出席し、例会終了後の和やかな雰囲気の中でクラブの現況と今年度の活動計画を説明させていただきました。またガバナー卓話では、ガバナー自らの御体験を交えた例え話で「活動目標」を分かりやすくご説明いただき、会員一同共感し、更なるロータリーの発展に努めたいとの思いを強くいたしました。

コロナが急速に感染拡大した厳しい中、ガバナー公式訪問が無事開催されましたこと、関係者の皆様には深く感謝申し上げます。



佐賀大和RC

7月21日(木)

会長 香月 信夫 幹事 渡瀬 友也

7月21日(木)、多久ロータリークラブと合同で多久市のTAQUAにて上村春甫ガバナー、大家和義ガバナー補佐、山下雄司地区幹事、古川麻由美地区編集委員をお迎えしガバナー公式訪問を開催致しました。懇談会では当クラブより渡瀬友也幹事と新入会員の西岡友子さん、福島庸介さんの4名が参加しました。私から今年度の方針をお伝えし、課題であるコロナ禍での例会開催についてどう取り組むべきか情報交換させていただきました。古川地区編集委員から佐賀ロータリークラブで既に取組んでいる事例を教えていただき大変参考になりました。

また、今回初めて新入会員さんも同席していただくことで懇談会の場も非常に和やかな雰囲気でお二人とも懇談会に同席して大変良かったとの感想を言われました。今回は多久ロータリークラブのみなさまに会場設営等全てを行っていただき大変ありがとうございました。



ガバナー公式訪問クラブ報告



有田RC

7月22日 (金)

会長 益田 保彦 幹事 坂本 敏彦

7月22日 嬉野観光ホテル大正屋にて、上村春甫ガバナー、秀島寛ガバナー補佐、山下雄司地区幹事・古賀利明地区副幹事・織田徳彌地区大会実行委員長をお迎えして第3グループ内の有田RC、武雄RC、嬉野RC、大町RCの4クラブ合同の公式訪問例会が開催されました。

合同例会に先立ち上村ガバナー、秀島ガバナー補佐・山下地区幹事、当クラブ会長・幹事・会長エレクトの6名にて懇談会が別室で行われ、今年度の有田RCの運営方針や60周年記念事業などを報告し、丁寧にアドバイスや質問をして頂きました。

その後、会場を大広間に移し4クラブ合同で、会長時間も各クラブ1分と短く、少し異例の進行となりましたが、ガバナー卓話では佐賀藩の御天医の家系のエピソードや大相撲の照ノ富士の話等楽しい話を聞かせて頂きました。各クラブよりバナーの贈呈、記念撮影を行い終了いたしました。

上村ガバナーを始め御来訪頂きました皆様に感謝申し上げますとともに、今後も御指導宜しくお願い致します。



武雄RC

7月22日 (金)

会長 山下 功 幹事 岡村 健一

7月22日 (金) 今回初めて4クラブ合同 (嬉野・有田・大町・武雄) で上村ガバナー・山下地区幹事・秀島ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問が開催されました。

例会前の懇話会では、武雄RC独自で行っている法律相談・ジャルダンの清掃・秋田慰霊祭への献酒の説明と、当クラブの現状と運営方針を説明し今年度の方針としては、会員の減少に伴っての会員増強についての問題点などをお話ししました。

上村ガバナー・山下地区幹事・秀島ガバナー補佐より良いアドバイスをいただき今後の会員増強に生かしていきたいと思えます。

その後、例会での卓話においては、RIのテーマ「イマジン・ロータリー」ロータリーには不思議な力がある、それを発揮するには、(多様性)(公平さ)(包摂)を踏まえた会員の積極的参加が必要であると述べられました。

また、重点項目に三つの取り組み (女性会員の増強と女性会員の積極性と帰属意識とが醸成されるような環境の整備)(青少年の活動の活性化)(リーダーシップ開発活動の強化) を述べられました。

最後に、武雄RCも「ロータリーには不思議な力がある」ことを信じ、頑張っていきたいと思えます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



嬉野RC

7月22日(金)

会長 小野原栄信 幹事 瀧野 虎登

令和4年7月22日(金)、上村春甫ガバナー、秀島寛ガバナー補佐、山下雄司地区幹事、古賀利明地区副幹事、織田徳彌地区大会実行委員長をお迎えして有田、武雄、大町、嬉野の4クラブ合同ガバナー公式訪問を開催いたしました。

4クラブ合同例会が開催され、上村春甫ガバナーより、多彩な活動に基づく有意義な卓話を賜り感銘いたしました。

4クラブ合同例会の後にガバナーとの懇談会を行い、当クラブの現状、本年度の活動方針をご報告し、それに対して上村ガバナー、秀島ガバナー補佐、山下地区幹事より懇切丁寧なご指導を賜り誠に有難うございました。

最後になりましたが、ご訪問いただきました上村ガバナー、秀島ガバナー補佐、山下地区幹事、古賀地区副幹事、織田地区大会実行委員長の皆様に感謝申し上げると共に今後のご活躍をお祈り申し上げ、ご指導ご支援を宜しくお願い申し上げます。



大町RC

7月22日(金)

会長 諸石 一三 幹事 池上 司

7月22日(金) 嬉野観光ホテル大正屋において、上村春甫ガバナー・秀島寛ガバナー補佐・山下雄司地区幹事・古賀利明地区副幹事・織田徳彌地区大会実行委員長をお迎えしてのガバナー公式訪問例会を開催いたしました。猛暑の中、またコロナ禍の中ご訪問いただきありがとうございます。

今年度の公式訪問例会は、有田、武雄、嬉野、大町の4クラブ合同で行われ人数も多く緊張しました。各クラブ1分の持ち時間の中で「会長の時間」に会員増強について話をさせていただきました。会員が多いクラブは活気があり楽しい雰囲気になり盛り上がっています。

大町クラブは今年度創立50周年を迎えます。現在14名の会員で活動していますが、「退会防止」は勿論ですが、何はともあれ「会員増強」に力を入れなければいけません。女性会員の入会も積極的に取り組んでいきたいと思えます。

コロナの影響もあり例会は短縮されていた様子でしたが、上村ガバナーの卓話では今年度のRIテーマ「イマジン ロータリー」、そして、地区テーマ「『想像』して『創造』しよう…ロータリーで未来を！」についてユーモアを交えて詳しく話をいただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。

上村ガバナー並びに本年度地区役員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、会場設営等準備をしていただいた嬉野クラブの皆さん、ありがとうございました。



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐賀西 R C

7月25日 (月)

会長 永尾 竹則

幹事 半田 望

私たち佐賀西ロータリークラブへご訪問いただいたのは7月25日でした。まず、懇談会では、会長から、当クラブの現況、今年度のクラブ方針、各委員会の方針等をご報告致しました。特に、コロナ禍の中で会員同士のコミュニケーションが十分にできていないことから、この状況をできる限り解消させていきたいということを申し上げました。また、当クラブが佐賀市へ寄贈しているバルーンについても、他のクラブから貸出しのご依頼をいただければ対応させていただきたいということもお伝えしました。その後、例会では、ガバナーから今年度の地区の方針について卓話を頂戴しました。「女性会員増強」「青少年活動」「リーダーシップ開発」等がどのようなものか想像し、想像したものを「多様性」「公平さ」「包摂」を高めながら創造していくということを分かりやすくご講義いただきました。貴重なお話をいただきありがとうございます。



佐賀南 R C

7月26日 (火)

会長 神代 剛

幹事 大木 傑

2022年7月26日 (火) 18:30 ホテルマリタール創世 (佐賀市) にて上村春甫ガバナー・笠慶宣ガバナー補佐・山下雄司地区幹事・吉松潤二『ガバナー月信』編集長をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。園田清子SAAの司会で例年よりは和やかにお迎えできたのではないかと思います。(ガバナーのレクチャー直前に10分程お時間を頂戴し、最近サガテレビでも活躍中の薩摩琵琶 かなこ堂 北原香菜子さんが登場。ガバナーの当クラブ訪問を寿ぎ『奉仕の理想』を薩摩琵琶バージョンで奏でて戴きました。)



事前の懇話会・例会内のレクチャーでは上村ガバナーより当クラブの先輩会員との長い交流の歴史も拝聴し、あらためて佐賀ロータリークラブと当クラブの縁(えにし)の深さを実感致しました。女性会員増強・活躍推進については上村ガバナー直々に細やかなアドバイスも頂き、今後とも佐賀南RCらしさを失うことなく「この道」を進むことに自信を深めさせて戴きました。コロナ禍・猛暑のなかでの公式訪問「行脚」。道中のご無事を祈念致します。



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐世保東南 R C

7月27日 (水)

会長 吉田 大 幹事 鎌田 裕二

7月27日(水)佐世保東南ロータリークラブの例会場「ホテルオークラJRハウステンボス」にて上村春甫ガバナーとの懇談会が開催されました。

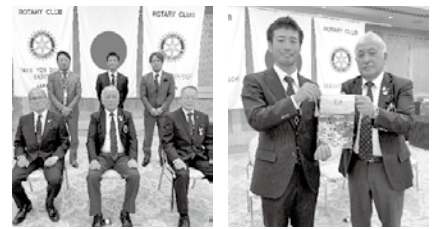
上村春甫ガバナー、橋口佳周ガバナー補佐、山下雄司地区幹事と当クラブ吉田会長、吉富会長エレクト、鎌田幹事との懇談会を行い、当クラブの問題点や課題について適切なアドバイスを頂くことができ、実りある懇談会となりました。

懇談会は1時間ほどの時間でしたが終始笑いの絶えない懇談会で、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

本来は、公式訪問で上村ガバナーをお迎えしてガバナーのお話を会員の皆様にも聞いてほしかったのですが、新型コロナウイルスの感染者数が拡大して、公式訪問が実現できなかったことが非常に残念でした。

懇談会で上村ガバナー、橋口ガバナー補佐、山下地区幹事からいただいたお話は、佐世保東南ロータリークラブの会員にしっかりと伝えたいと思います。

上村ガバナー、橋口ガバナー補佐、山下地区幹事、懇談会のお時間いただきありがとうございました。



HTB佐世保 R C 7月27日 (水)

会長 杉山 和宏 幹事 中川 英俊

令和4年(2022年)7月27日(水)国際ロータリー第2740地区上村春甫ガバナー、橋口佳周第6グループガバナー補佐、山下雄司地区幹事にご訪問いただきました。

当初、佐世保東南ロータリークラブと当クラブ合同のガバナー公式訪問例会を予定しておりましたが、直近になり新型コロナウイルス感染者数が急激に増加したため、クラブ会員にてお迎えすることができなくなり、会長(杉山)、会員増強委員長(増本)、会長エレクト(舩元)の3名参加による懇談会を開催していただきました。

懇談会は、山下地区幹事にて進行がなされ、まず当クラブの現状と今後の課題についてのお尋ねに対し、私から当クラブ会員間においては、非常にいいコミュニケーションが取れたクラブであり、クラブ会員全員がとても仲の良いクラブであることをお伝えさせていただきました。

今後の課題に関しては、今年度運営方針である会員増強について、若い会員を中心に取り込んでいきたい旨を報告させていただきました。

また、この会員増強について、会員増強委員長である増本委員長からは、今年度は例年以上に会員増強に力を入れて行うため、今まで以上により具体的な計画を立て、クラブフォーラム等を行い実践していきたい考えをお伝えしました。

山下地区幹事より、舩元会長エレクトに対して、女性会員としての意見を求められましたが、これに対し舩元会長エレクトは、当初は戸惑いもあり、とても緊張して例会に参加していたが、現在では、会員全員に温かく接してもらい、たくさんの新たな繋がりができ、仕事上でも非常にいい協力関係ができ、例会に参加するのが楽しみであるとお話しました。

上村ガバナーより、当クラブにおける医療従事者への支援活動について尋ねられ、その詳細についてご報告したところ、ガバナーご自身も医療に携わっておられる関係上、医療現場の現状も交えながらお話いただき、非常に素晴らしいことなので、今後も継続してもらいたいとお言葉をいただきました。

その他、当クラブHPについて、他のロータリークラブには見られない特筆すべき内容があるとお言葉をいただき、この取り組みについて、ガバナー月信に記事として掲載したいとの申出をいただきました。

今回の懇談会にてご指導いただきました内容につきましては、直近の例会にて当クラブ会員に報告させていただき、今後のクラブ運営に活かしていきたいと思っております。

今回の懇談会は、上村ガバナーのもと、非常に和やかな雰囲気であっという間の時間でしたが、とても有意義な時間を過ごすことができました。

最後になりますが、このような状況下でのガバナー公式訪問に深く感謝いたしますとともに、上村ガバナーのご活躍を心より祈念申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐世保東 R C

7月28日 (木)

会長 吉田 親司 幹事 白濱 仁啓

昨今のコロナ感染状況に鑑み、公式訪問の予定を変更して、7月28日に上村ガバナー、山下地区幹事、橋口ガバナー補佐と、当該クラブ会長・会長エレクト・幹事との懇談会を開催して頂きました。

会長よりクラブ運営・活動方針の発表と、幹事よりクラブの現況報告をさせて頂いた後、上村ガバナーはじめ山下地区幹事、橋口ガバナー補佐より、女性会員の獲得方法、工夫ある例会の開催手法、クラブが元気になるための戦略計画委員会の活用の仕方、ローターアクトの復活等々、大変貴重なアドバイスを頂きました。

また、今年度のRIの方向性や上村ガバナーの方針についてもわかりやすくご説明頂き、当クラブの活動や運営の参考にさせて頂きたいと思えます。

最後になりますが、ご多忙の中、懇談会を開催して頂きましたことに心より感謝を申し上げ、上村ガバナー、山下地区幹事、橋口ガバナー補佐の今後益々のご活躍、ご健勝を祈念申し上げご報告と致します。



佐世保中央 R C

7月28日 (木)

会長 前田 眞澄 幹事 香月 章彦

当初佐世保東RCとの合同例会を予定していましたが当クラブのコロナ禍で例会中止と成り各クラブのガバナー懇談会を以ってガバナー公式訪問と成りました。佐世保東RC例会場にて上村春甫ガバナー・橋口佳周ガバナー補佐・山下雄司地区幹事をお迎えし、会長前田眞澄と会長エレクト馬場貴博の2名でご応対致しました。山下地区幹事の進行の下、クラブ現況報告とIM開催の説明後、当クラブ輩出の橋口ガバナー補佐よりクラブの特徴として寄付資金源を目的とした独自の基金会と会員の奥様方で構成されているコーラスの会「コスモス」のご紹介等、ご説明して頂きました。

上村ガバナーの親近感あふれる自己紹介で我々の緊張感を緩和して頂いた後、先に述べられていたガバナーメッセージと地区方針について重要ポイントを細かくお聞かせ頂きました。佐賀西RCのバルーン貸出し利用の話もされ、盛沢山の有意義な懇談会と成りました。最後に会場設営から記念写真撮影までお世話して頂きました佐世保東クラブ吉田親司会長、白濱仁啓幹事、坂口尉知朗会長エレクト、事務局員 重村潤子様、ありがとうございました。



ガバナー公式訪問クラブ報告



唐津RC

8月2日(火)

会長 中島 幸利 幹事 渡邊 耕

唐津市は7月29日に観測史上最高気温37.3度を記録しましたが、令和4年8月2日も県内最高気温35.5度に達した酷暑の中、上村ガバナーをお迎えした公式訪問が執り行われました。上村ガバナーの卓話の中で、当RCの井上克己会員、奥村豊会員、徳川清隆会員の名前が次々と披瀝され、唐津との関わりの深さ、唐津へのシンパシーがひしひしと伝わってきて、有難く、親近感を持って卓話を拝聴することができました。なかでも“地区活動及びクラブサポートの重点項目”として示された項目の一つ「女性会員の増強と女性会員の積極性と帰属意識とが醸成されるような環境の整備」について、上村ガバナーの所属クラブであり当RCのスポンサークラブである佐賀RCには、80名の会員中一割にあたる8名の女性会員が在籍されているとの説明があり、掛け声だけに留まらず、存分に女性会員の増強に努められていることに感服しました。当RCの親とも言える佐賀RCの進取の姿勢をリスペクトし、遅ればせながら、まずはこれまで当RCで消極的かつ不活発であった“女性会員の入会”についての議論を進めて行こうと意を強くしました。



唐津西RC

8月2日(火)

会長 松本 清則 幹事 野崎 伸也

上村春甫ガバナー、熊川嘉秀ガバナー補佐、山下雄司地区幹事をお迎えして、唐津ロータリークラブとの合同例会が開催されました。

上村ガバナーは卓話のなかで、RI初の女性会長となられたジェニファー・ジョーンズ氏が掲げられる「多様性・公平さ・包摂」というキーワードを具体的に実施するにあたり、①女性会員の増強、②青少年活動の活性化、③リーダーシップ開発活動の強化、を提言されました。

「多様性・公平さ・包摂」をすぐに実現することはなかなか困難だと思いますが、まずは、自分自身の器を拡げることが大切だと感じました。

懇談会の場合でも、和やかな雰囲気で行っていただき、有意義な情報交換ができました。出席率を上げること、退会者を出さないようにすること、女性会員を勧誘すること、などは他のクラブも課題のようであり、今後、他クラブの方々とも情報交換をしていかなければと思いました。

緊張感の中にも、和やかさがあり、充実した時間が過ごせました。猛暑のなかでのご訪問に対して、心より感謝申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

また、今回の合同例会にあたり、事前準備から進行まで主導で実施していただいた唐津ロータリークラブの中島会長はじめ会員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



2022年7月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	67.9	74	6	76	6	3	1	2	2
	小城	3	66.6	29	4	29	4	0	0	0	0
	牛津	3	88.5	30	0	30	0	0	0	0	0
	多久	4	76.5	34	5	35	6	1	0	1	1
	佐賀大和	3	69.3	26	5	26	5	0	0	0	0
	小計		73.8	193	20	196	21	4	1	3	3
第2グループ	佐賀西	3	80.1	41	4	41	4	0	0	0	0
	佐賀北	4	65.0	44	3	44	3	0	0	0	0
	佐賀南	3	81.3	36	3	39	4	3	0	3	3
	神埼	4	72.2	35	4	37	4	2	0	2	2
	佐賀空港	3	66.6	17	0	17	0	0	0	0	0
	小計		73.0	173	14	178	15	5	0	5	5
第3グループ	有田	2	70.0	31	2	31	2	0	0	0	0
	武雄	3	84.9	43	2	43	1	1	1	0	0
	鹿島	4	89.6	30	3	31	4	1	0	1	1
	嬉野	4	80.0	27	1	28	2	1	0	1	1
	大町	3	61.9	14	0	14	0	0	0	0	0
	太良	4	86.1	9	0	9	0	0	0	0	0
小計		78.7	154	8	156	10	3	1	2	2	
第4グループ	唐津	4	87.2	57	0	56	0	0	1	-1	-1
	伊万里	2	79.0	31	0	31	0	0	0	0	0
	唐津東	4	85.1	48	0	49	0	1	0	1	1
	唐津西	4	82.3	28	0	28	0	0	0	0	0
	伊万里西	2	93.0	36	1	39	1	3	0	3	3
	唐津中央	4	77.5	35	5	34	5	0	1	-1	-1
	小計		84.0	235	6	237	6	4	2	2	2
第5グループ	佐世保	4	80.7	74	0	75	0	1	0	1	1
	平戸	4	83.3	24	1	25	2	1	0	1	1
	北松浦	3	81.0	22	0	22	0	0	0	0	0
	佐世保西	4	81.8	22	3	22	3	0	0	0	0
	松浦	4	85.6	25	1	27	1	2	0	2	2
小計		82.5	167	5	171	6	4	0	4	4	

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減		
第6グループ	佐世保南	4	100.0	59	1	60	1	1	0	1	1	
	佐世保東	3	77.7	24	0	24	0	0	0	0	0	
	佐世保北(衛星クラブ)	3	100.0	50(9)	4	51(9)	4	1	0	1	1	
	佐世保中央	2	88.1	48	1	49	1	1	0	1	1	
	佐世保東南	1	83.0	34	1	34	1	0	0	0	0	
	HTB佐世保	1	84.2	22	3	22	3	0	0	0	0	
	小計		88.8	237	10	240	10	3	0	3	3	
第7グループ	大村	3	87.9	40	4	42	4	2	0	2	2	
	島原	2	80.4	29	2	29	2	0	0	0	0	
	大村北	4	77.9	26	1	27	1	1	0	1	1	
	島原南	3	66.0	15	1	15	1	0	0	0	0	
	大村東	3	86.4	34	4	34	4	0	0	0	0	
小計		79.7	144	12	147	12	3	0	3	3		
第8グループ	諫早	3	74.1	73	0	74	0	1	0	1	1	
	諫早北	4	80.7	78	4	78	4	0	0	0	0	
	諫早西	4	94.3	50	1	49	1	0	1	-1	-1	
	諫早多良見	3	91.4	28	0	28	0	0	0	0	0	
	雲仙諫早南	2	97.7	18	6	21	6	3	0	3	3	
	小計		87.6	247	11	250	11	4	1	3	3	
第9グループ	長崎	3	84.5	59	0	60	0	1	0	1	1	
	福江	4	75.6	29	0	29	0	0	0	0	0	
	長崎北東	3	75.9	38	2	37	2	0	1	-1	-1	
	福江中央	3	87.9	16	1	17	1	1	0	1	1	
	長崎西	3	78.7	35	1	36	1	1	0	1	1	
	長崎琴海	3	72.2	7	0	7	0	0	0	0	0	
	小計		79.1	184	4	186	4	3	1	2	2	
第10グループ	長崎北	3	81.2	73	0	73	0	0	0	0	0	
	長崎南	3	76.0	70	0	71	0	1	0	1	1	
	長崎東	5	74.7	37	1	36	1	0	1	-1	-1	
	長崎みなど	1	85.2	28	1	27	1	0	1	-1	-1	
	長崎中央	3	94.3	50	1	49	1	0	1	-1	-1	
	長崎出島	4	74.3	71	8	71	8	0	0	0	0	
小計		81.0	329	11	327	11	1	3	-2	-2		
55クラブ合計				81.0	2,063	101	2,088	105	34	9	25	25

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は2022年7月1日から2022年7月末までの増減です。

新会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々を紹介します。

※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に記載が間に合わなかった新会員の方のご
紹介は、次号に記載させていただきます



佐賀RC

成田 浩章 君
損害保険ジャパン(株)
佐賀支店支店長



佐賀RC

小原 晴義 君
(有)ダイワ鍍金塗装工業
代表取締役社長



佐賀RC

永池 明裕 君
(株)永池
代表取締役社長



多久RC

深山 優華 君
深山生花店



佐賀南RC

小部 嘉彦 君
(株)佐賀衛生社
代表取締役



佐賀南RC

金武 良憲 君
金武外科肛門科
理事長理事



佐賀南RC

宮添 有里 君
第一生命保険(株)



神埼RC

大庭 誠也 君
大庭
店主



神埼RC

宮原 章彦 君
株式会社ミヤハラ物流
代表取締役



武雄RC

秋丸 宜宏 君
(株)オーテック
取締役工場長



鹿島RC

釘尾 久子 君
Night Bar Rouge
代表



嬉野RC

井手 さおり 君
藤間幸和花
舞踊家



唐津東RC

加登 一好 君
九州電力(株)唐津営業所
所長



佐世保RC

梅村 尚一郎 君
(株)梅村組
代表取締役社長



平戸RC

溜池 千代美 君
(有)平戸美装工業
常務取締役



松浦RC

村上 功 君
九州電力(株)松浦発電所
所長



松浦RC

野上 明 君
(株)小松設備
代表取締役



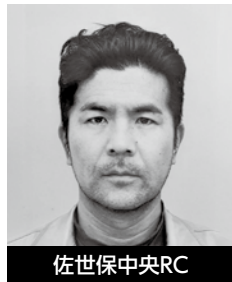
佐世保南RC

古川 智憲 君
株式会社東部運輸
代表取締役



佐世保北RC

井手 誠博 君
行政書士井手法務事務所
代表



佐世保中央RC

松尾 啓一 君
有限会社エムケイ技研
代表取締役



大村RC

角 徹 君
医療法人すみ歯科医院
理事長



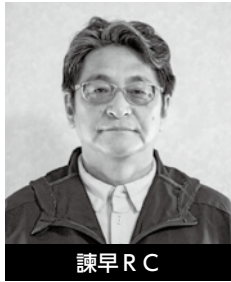
大村RC

西村 啓吾 君
オリエントエアブリッジ(株)
常勤監査役



大村北RC

平田 浩 君
平田浩税理士事務所
所長



諫早RC

西村 薫 君
(株)西村
代表取締役社長



雲仙 諫早南RC

大谷 真一 君
プロキユープ合同会社
代表社員



雲仙 諫早南RC

川東 久聖 君
(株)リズカーレ
代表取締役社長



雲仙 諫早南RC

増山 喜久男 君
(有)エイキ設備
代表取締役社長



長崎RC

瀬戸口 浩 君
西日本電信電話(株)長崎支店
支店長



福江中央RC

井上 克哉 君
いのうえ動物病院
院長



長崎西RC

富山 容治 君
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)
長崎支社 支社長



長崎南RC

田中 洋之 君
(株)クリーン・マット
専務取締役

寄付者紹介

ご厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

ロータリー財団		
種 類	氏 名	クラブ名
マルチプル ポールハリスフェロー	福田 輝機	佐世保西
	吉武 直亮	佐世保西
	宮地 学	佐世保南
ポールハリスフェロー	宗 博美	佐世保南
	篠原 政幸	佐世保南
	松田 洋一	諫早北
ベネファクター	三山 格	長崎
メモリアル コントリビューション	北島 順子	福江

米山記念奨学会		
種 類	氏 名	クラブ名
米山功労者 メジャードナー	白川 十郎	伊万里
	山口 嘉浩	佐世保南
	川野 恒雄	諫早北
米山功労者 マルチプル	篠原 政幸	佐世保南
	宮地 学	佐世保南
	宗 博美	佐世保南
	川崎 伸一	ハウステンボス佐世保
	岡田 金助	ハウステンボス佐世保
	石坂 和彦	大村
米山功労者	安達 栄太	長崎東

ポリオ・ワンコインBOX報告

今月分BOX金額

累計金額

119,456

119,456

2022-23年度

国際ロータリー第2740地区 地区大会

大会プログラム

大会1日目

2022

11/25
金

ホテル
ニューオータニ
佐賀

ロータリー研修セミナー 16:30 ▶ 18:00

講師 酒井 正人 氏

RI会長代理歓迎晚餐会 18:30 ▶ 20:30



RI会長代理
第2510地区(北海道西部)パストガバナー
酒井 正人 氏 (函館五稜郭ロータリー)

大会2日目

2022

11/26
土

佐賀市
文化会館

本会議第1部 12:30 開会・点鐘

記念講演会 14:30 開 場
15:00 開 演



講師 池上 彰 氏

演題 『ニュースから世界を見る』

公演概要

ロシアによるウクライナ侵攻で、世界は「新たな冷戦」
になったとも言われます。
なぜ、このような事態になったのか。これから日本は
どうなるのか、考えます。

本会議第2部 16:40 開 会
18:00 閉会・点鐘

2022

11/27
日

親睦ゴルフ大会

8:00 スタート

フジカントリークラブ
佐賀県佐賀市富士町上熊川691



Rotary 

ホストクラブ

佐賀RC

コ・ホストクラブ

小城RC / 牛津RC / 多久RC / 佐賀大和RC / 佐賀西RC
佐賀北RC / 佐賀南RC / 神埼RC / 佐賀空港RC

肥前國 の 風景

秀峰 天山
〔佐賀県佐賀市〕

天山は、筑紫山地に属する標高一〇四六メートルの山で佐賀県佐賀市、小城市、多久市、唐津市に広がっています。佐賀県南部のどこからでも眺めることができ、ふるさとの山「秀峰 天山」として親しまれています。

広い山裾には清らかな水が流れ、更には佐賀平野の米から造られる数多くの銘酒を生み出しています。

そしてその山頂には、阿蘇惟直の供養塔が建っています。南北朝時代の延元元（一三三六）年に、筑前国・多々良浜の戦いで足利尊氏に敗れ阿蘇まで退却の途中、落命したことから、「阿蘇の煙が望見できる」天山山頂に葬られたと伝わります。



編集後記

四季あるこの地、2740地区でのワンショットには、時折、色んな奇跡との遭遇を感じます。この地に生まれ育ち、奉仕を思う皆さまと出逢い、親睦を深める中で感じる瞬間には、この佐賀平野の一面に広がる新緑色から、風にそよいで黄金色に輝く稲穂への変化のように、これから出会うこととなる広い未知の世界に、深みと喜びを感じます。(麻)

国際ロータリー第2740地区
ガバナー事務所

〒849-0913 佐賀市兵庫町大字淵4604-1
TEL 0952-37-3138 FAX 0952-37-3139
E-mail ri2740uemura@shunyoukai.jp
URL <https://rotary2740.jp/>

